

1 計画のポイント

● 計画の趣旨

平成30年7月の医療法の一部改正に伴い、新たに「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」を都道府県医療計画に追加。

● 計画期間

- ◆令和2(2020)年3月に第7次大阪府医療計画を改定し追加予定。
- ◆令和2(2020)年度から令和5(2023)年度の4年間を最初の計画期間とする。
- ◆令和6(2024)年度以降、3年毎に計画の見直しを実施する。

● 計画の取り組み

- ◆外来医療機能に係る可視化した情報(外来医療計画)の医療関係者への周知
⇒地域医療の現状を把握いただき、自発的な協力を促す
- ◆新規開業者に地域医療への協力にかかる意向書提出を依頼
- ◆医療機器新規購入者等に共同利用にかかる意向書提出を依頼
⇒地域医療への協力について、啓発

● PDCAサイクルの推進

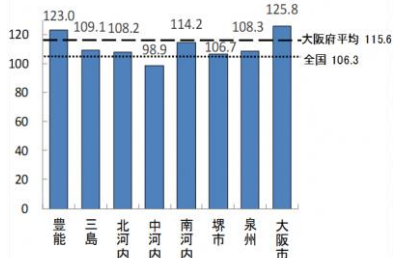
- ◆医療審議会における進捗管理
毎年度：取組評価
令和5(2023)年度：計画評価

2 外来医療体制の現状と新規開業者等への対応（一般診療所）

● 一般診療所医師の状況

・地域間で診療所医師には偏在があり、中河内以外は外来医師多数区域となっている。

◆外来医師偏在指標(調整人口10万当たり診療所医師数)※

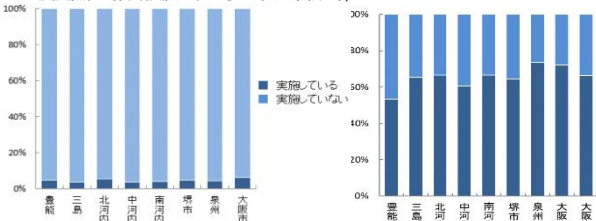


※地域の診療所医師の配置状況を測定する指標。全国上位3分の1以上となる「外来医師多数区域」となっている。

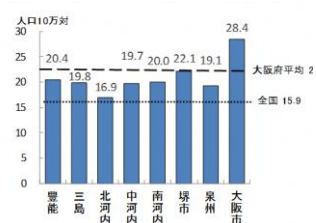
● 外来医療機能等にかかる状況

・時間外の外来診療、在宅医療(訪問診療)、産業医、学校医は、地域の医師によって支えられているが、一般診療所医師は60代以上が約半数を占め、新規開業者の地域医療への協力が必要。

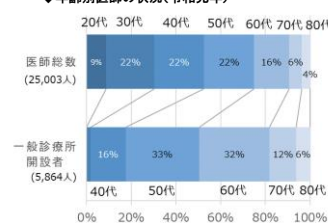
◆一般診療所の時間外診療(日曜日・祝日)状況(令和元年) ◆学校医の出務の有無(令和元年)



◆人口10万対訪問診療実施施設数(平成29年)

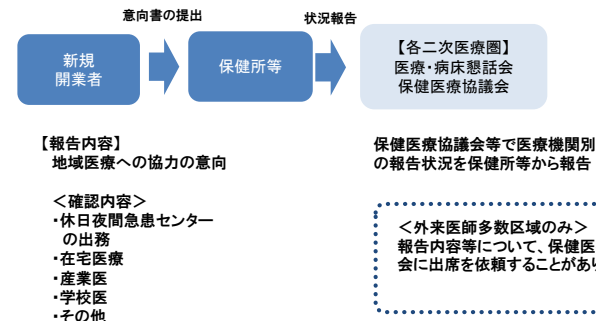


◆年齢別医師の状況(令和元年)



新規開業者への対応(一般診療所)

- ◆一般診療所の新規開業等、開設届けの届出を行おうとする者に対し、「診療所開設後の地域医療への協力について」の意向書の提出を依頼。



【目標】地域医療に関する意向書の認知度100%

3 医療機器の整備状況と医療機器新規購入・更新医療機関への対応（一般診療所・病院）

● 対象となる医療機器

- ◆CT(全てのマルチスライスCT及びマルチスライスCT以外のCT)
- ◆MRI(1.5テスラ未満、1.5テスラ以上3.0テスラ未満及び3.0テスラ以上のMRI)
- ◆PET(PET及びPRT-CT)
- ◆放射線治療(リニアック及びガンマナイフ)
- ◆マンモグラフィ

● 医療機器の配置状況

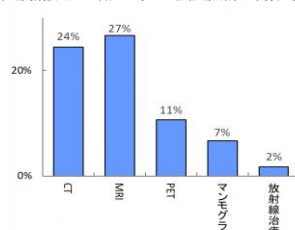
・府内医療機関の人口当たりの医療機器数は、全国と大きな差はない。

◆調整人口当たりの医療機器保有台数(令和元年)

| 二次医療圏 | 調整人口あたり台数 | | | | |
|-------|-----------|-----|------|---------|-------|
| | CT | MRI | PET | マンモグラフィ | 放射線治療 |
| 豊能 | 8.8 | 4.2 | 0.91 | 2.3 | 1.02 |
| 三島 | 9.6 | 3.8 | 0.27 | 2.9 | 0.97 |
| 北河内 | 8.0 | 4.2 | 0.25 | 2.5 | 0.68 |
| 中河内 | 7.2 | 4.0 | 0.36 | 2.6 | 0.60 |
| 南河内 | 9.9 | 5.0 | 0.46 | 2.7 | 0.77 |
| 堺市 | 9.2 | 4.2 | 0.24 | 2.1 | 0.48 |
| 泉州 | 12.1 | 4.0 | 0.34 | 2.4 | 0.80 |
| 大阪市 | 12.5 | 5.6 | 0.86 | 3.6 | 1.30 |
| 大阪府 | 10.2 | 4.6 | 0.54 | 2.8 | 0.92 |
| 全国 | 11.1 | 5.5 | 0.46 | 3.4 | 0.91 |

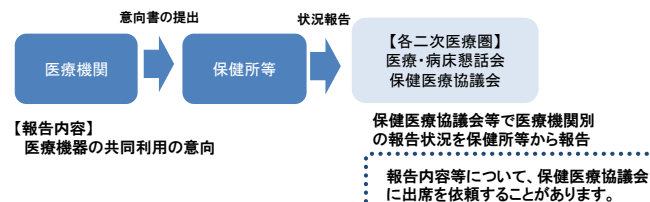
・CT・MRI等の医療機器は、20%強の一般診療所が共同利用の希望がある。

◆医療機器別共同利用の希望一般診療所数の割合(令和元年)



医療機器新規購入・更新医療機関への対応（一般診療所・病院）

- ◆医療機器を新規購入・更新した医療機関は、「医療機器の共同利用について」の意向書の提出を依頼。



【目標】医療機器の共同利用計画書の認知度100%